

協働通信

都留の市民の活動

都留文科大学生サークル「かるたサークルあまつかぜ」

正月遊びといえば、たこあげ、コマ回し、福笑い、かるたなどたくさんあります。11月30日(土)、まちづくり交流センターの交流室にて、都留文科大学生サークル「かるたサークルあまつかぜ」による、かるた、百人一首を使った交流イベントが行われました。



▽都留市まちづくり市民活動支援センター
都留市中央3-8-1
都留市まちづくり交流センター(旧文化会館)1階
▽開館
火~日(祝日除)
8:30~17:15
▽問い合わせ先
mail: shien@city.tsuru.yamanashi.jp
☎(43)1321
FAX (43)1322

初めて開催されたこともあり、参加者を集めるのに苦労をしたようですが、百人一首を通して小学生など大学生が交流をしました。初めて百人一首に触れる子どもたちも考えられていて「坊主めぐり」や「散らし取り」、大学生による競技かるたのデモンストレーションなどが行われました。「坊主めぐり」では、坊主や娘が出るごとに手札や山札の近くに寄せられている山札が動くのを見て、ため息や喜びの声が上がっていました。競技かるたのデモンストレーションでは、大学生が遠くへ札を飛ばすのを見て、歓声が上がりました。「散らし取り」では、初めて体験する子どもたちが札を簡単に取る事ができるように、簡単な和歌の覚え方を教えてもらっていました。



都留文科大学生サークル「かるたサークルあまつかぜ」代表の中里真琴さんにお話を伺いました。
イベントを開催したいと思った理由をお聞かせください。

地域の方々と交流をしたいと思ったからです。また、都留市では「俳句かるた」が一般に知られていると伺っていますが、百人一首も知って欲しいと思ったことから、こういったイベントを開催しました。

イベントを開催してみたいかがでしたか？

小学生が参加してくれたのですが、学校で百人一首をやっていると聞きました。知っていることをするのは馴染みやすいので、あま

り説明しなくても輪に入ってきてくれました。イベントを開催する前は知らない人に百人一首の世界知ってもらうことが大切だと思っていたのですが、百人一首を知っている人にももっと詳しく知っていただくことも大切だと感じました。
今後の活動を教えてください。

この交流イベントを定期的に開催していきたいと考えています。その際は、今回、子どもたちから小学校で百人一首をやっていることを教えてもらえたので、小学校にも協力していただきながら、地域の皆さんにお知らせして、たくさんの方にご参加いただければと思います。

地域のお知らせ

谷村地域

夢実現ひろば

祝100回記念!

夢実現ひろば開催100回を祝って楽しい時間を過ごしましょう!

内容 室内レクリエーション
日時 1月23日(木)
13時30分~15時30分

場所 吉廣(都留市中央)

問合先 ☎(43)9751(柳沢)